



乳幼児病棟における 皮膚粘膜障害への看護 ～病棟での取り組み～

地方独立行政法人 大阪市民病院機構
大阪市立総合医療センター 看護師 辰巳美紀



病棟のご紹介

- ・診療科：主に小児血液・腫瘍内科、小児脳神経内科
- ・対象年齢：乳幼児
- ・病床数：27床（うち、無菌室2床）
- ・造血幹細胞移植件数：
2023年：6件
2024年：11件
2025年10月現在：3件





お話しする内容

- 痛みの有無や程度を知るための客観的情報
- 口腔粘膜障害に対する看護
- 消化管粘膜障害に対する看護
- 皮膚障害に対する看護（事例を通して）



痛みの有無や程度を知るための客観的情報

- 食事量、哺乳量の変化
- 流涎の有無
- 機嫌
- フェイススケール





口腔粘膜障害に対する看護

- 口腔内の観察（口内炎の有無、粘膜のあれ）
 - 食後の歯磨き、歯磨きシートでの清拭
 - 鎮痛、抗炎症、保湿効果のある薬液でのうがい
 - 軟膏処置
 - 積極的な鎮痛薬使用
 - オピオイド開始
- 



消化管粘膜障害に対する看護

- 陰部、臀部の皮膚の観察
 - 頻回なおむつチェック、交換
 - 排便時の洗浄
 - 軟膏処置
 - 整腸剤や止痢薬の内服介助
 - WOCナースや皮膚科医との連携
 - 腹部の温罨法
 - 積極的な鎮痛薬使用
- 



皮膚障害に対する看護

- Aくん 幼児期前期 男児
- ウィスコットアルドリッチ症候群（原発性免疫不全症候群）
- 経過

生後20日：血小板減少、口腔内潰瘍、哺乳不良を主訴に紹介入院となる

1カ月時：上記診断 以後、入退院を繰り返す

11カ月時：骨髓移植

1歳1か月：一時退院 皮膚・消化管GVHDグレード1

1歳1か月：GVHDコントロール目的で再入院

1歳9カ月：退院

1歳10カ月：CV感染にて再入院

皮膚GVHD増悪

1歳11カ月：末梢血幹細胞移植



Aくんの皮膚の状態



2度目の
移植前日



2度目の
移植前日

写真掲載については保護者の同意を得ています

Aさんの皮膚の状態



2度目の
移植当日



2度目の
移植後6日

写真掲載については保護者の同意を得ています



皮膚障害に対する看護

- 毎日入浴
(1回/週 CVポート抜針したタイミングで入浴)
 - 頻回な軟膏処置
 - 点滴固定の工夫
 - リムーバー使用による皮膚トラブル
 - WOCナース、皮膚科医との連携
 - 筒状伸縮性包帯での保護
- 



ご清聴ありがとうございました

